

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	地理歴史	科目：	世界史探究	単位数：	4	指導学年：	3
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材	ウィニングコンパス世界史の整理と演習（とうほう）				

年間指導目標：

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	世界史の諸事象について、世界と日本を広く相互的な視座から俯瞰し、古代史から現代史に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界史の変化に関わる事象の意味・意義・特色などを、時期・年代・推移・比較・相互の関連・現在とのつながりなどの項目に着目し、多面的・多角的に考察できるとともに、歴史にみられる課題把握と解決を視野に入れた構想力、考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力が身に付いている。	世界史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向け課題を主体的に追究・解決しようとする態度が身に付いており、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の歴史や文化に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてよく自覚している。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	第1章 オリентと地中海世界	(知)	ギリシア・ローマ世界、インドの古典文明、中国文明の形成や発展に関する知識を身につけている。	○	○	○	○		24
		第2章 アジア・アメリカの古代文明								
		第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成		(思)	ギリシア・ローマ文明との中のヨーロッパ世界との繋がりを多角的に考察する。日本をはじめとする周辺国家の形成を中国史全体の流れと関連付けて考察する。	○	○		○	
			(態)	ギリシア・ローマ世界の特色とキリスト教発展の意義を、関心を持って学習しようとしている。古代インドや中華文明形成期の社会や文化の特質を追求しようとしている。				○	○	
1 学期	期末 考査	第4章 イスラーム世界の形成と発展	(知)	イスラーム世界、東西ヨーロッパ世界、モンゴル帝国の支配、明・清の形成や発展に関する知識を身につけている。	○	○	○	○		24
		第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展								
		第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開		(思)	イスラーム世界の拡大と変容を、ヨーロッパ世界の動向と関連付けて考察する。封建社会の変容やヨーロッパの拡大を中央集権化と関連付けて考察する。	○	○		○	
		第7章 アジア諸地域の繁栄	(態)	イスラーム世界の分裂と変容の過程について、関心を持って学習しようとしている。中世ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について、関心を持って学習しようとしている。				○	○	

2 学 期	中 間 考 査	第8章 近代ヨーロッパの形成	(知)	大航海時代、ルネサンス、宗教改革、西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪に関する知識を身につけている。産業革命、アメリカ独立戦争、フランス革命に関する知識を身につけている。	○	○	○	○		32
		第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	(思)	三角貿易が西ヨーロッパ有力国にもたらした莫大な利益を、産業革命の前提条件である資本の蓄積と関連付けて考察する。資本主義体制の確立と社会の変容について、社会問題・労働問題と関連付けて考察する。	○	○		○		
		第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展	(態)	産業革命の世界史的背景、技術革新や交通革命の進展と波及について、関心を持って学習しようとしている。ウィーン体制の特色とその崩壊過程、社会主義思想の成立と普及について、関心を持って学習しようとしている。				○	○	
2 学 期	期 末 考 査	第12章 アジア諸地域の動揺	(知)	イギリスによるインドの植民地化、アヘン戦争やロシアの進出による清帝国の動揺に関する知識を身につけている。帝国主義の特質とその時代の基本的知識、第一次世界大戦から第二次世界大戦へ至る基本的知識を身につけている。	○	○	○	○		32
		第13章 帝国主義とアジアの民族運動	(思)	経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が、世界各地の社会の変容に与えた影響について考察する。第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を考察する。	○	○		○		
		第14章 二つの世界大戦	(態)	欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果、列強の二極分化が進み、第一次世界大戦に繋がる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。アジア諸民族の民族運動が大众的な基盤を持ち、世界史の新しい潮流をつくり出したことについて				○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	第15章 冷戦と第三世界の独立	(知)	第二次世界大戦後の冷戦、第三世界の台頭に関する知識を身につけている。冷戦後の特徴や現象に関する基本的知識を身につけている。	○	○	○	○		44
		第16章 現在の世界	(思)	親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察する。	○	○		○		
			(態)	米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について、関心を持って学習しようとしている。新たな地域紛争の頻発、経済格差や深刻化する貧困問題など、現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。				○	○	
合計									156	